NEWS RELEASE

新宿 中村屋

2018年6月8日（金）

6月12日は「恋と革命のインドカリーの日」キャンペーンを開催中！！

～2018年6月1日（金）から～

このたび株式会社中村屋（代表取締役社長 鈴木達也　東証第一部：2204）は、6月12日の「恋と革命のインドカリーの日」を記念して、2018年6月1日（金）より、直営店舗で順次キャンペーンを開催中です。

【なぜ６月１２日は「恋と革命のインドカリーの日」！？】
中村屋は1927（昭和2）年6月12日、日本で初めて本場インドの「純印度式カリー」を発売しました。その発売日である6月12日を記念日として制定しました。

※カリーの日の詳細については本リリースの後の【別紙】をご覧ください

【キャンペーン概要】

＜キャンペーン①＞販売数量限定メニュー「白目米（しろめまい）の純印度式カリー」

■期間：6月1日（金）～12月ごろ（予定）
※なくなり次第、提供を終了します。
■商品名：“白目米”と中村屋純印度式カリー
■商品説明：戦前、最もインドカリーのソースに合う日本の米として使用していた「白目米」（※1）の純印度式カリーです。
■店舗：レストラン＆カフェ　Manna／マンナ（新中村屋ビル　地下２階）
■価格：1,650円（税込1,782円）
■販売数量：平日は60食／日、土・日・祝日は100食／日

※1　「白目米」とは
白目米は江戸時代、武州幸手（現 埼玉県幸手市）の白目米として美食家や一流料亭、徳川家などが好んで食べたという最高級米でした。しかし、高価な白目米は明治維新以降、消費が激減し、ごく一部の農家でしか栽培されていない「幻の米」となっていました。
中村屋では1927（昭和2）年に純印度式カリーを発売した当初、インディカ米を使用していましたが日本人の口に合わなかったため、白目米に目をつけます。そして農家に栽培をお願いし、カリーのライスに採用しました。しかし、白目米は稲穂の背丈が高く倒伏しやすく収穫量も少なかったため、第二次世界大戦の米穀統制で栽培を禁止され、再び「幻の米」となってしまいますが、1988（平成10）年から販売を復活しました。
現在、石川県白山市の土作りからこだわっている契約農家で栽培されている白目米は新宿中村屋ビルの8階「カジュアルレストラン グランナ」で提供していますが、今年はインドカリーの日をきっかけにマンナでも期間限定でご提供します。

＜キャンペーン②＞ボンナでスピードくじを引いてプレゼントをもらおう！

■期間：6月9日（土）
■内容：ボンナで税込1,000円以上で、お一人様1回、スピードくじを引いていただけます。くじが当たった方にはバウムクーヘンかレトルトカレーを1つプレゼントいたします。
■店舗：スイーツ＆デリカ　Bonna／ボンナ（新宿中村屋ビル　地下１階）
■プレゼント賞品：カスタードスフレ　バウムクーヘン4コ入、または
プレミアムインドカリー　スパイシーチキン

＜キャンペーン③＞ボンナにご来店でプチサイズのレトルトカレープレゼント！

■期間：6 月 10 日（日）

■内容：ボンナにご来店の先着 180 名のお客様にプチサイズのレトルトカレーを
1 つプレゼントいたします。

■店舗：スイーツ＆デリカ　Bonna／ボンナ（新宿中村屋ビル　地下 1 階）

■プレゼント賞品：プチサイズ　スパイシーチキン　または
プチサイズ　ビーフスパイシー

＜キャンペーン④＞ボンナに中村屋の主要レトルトカレーが結集！

■期間：6 月 9 日（土）～6 月 10 日（日）　各日 10 時～17 時 30 分

■内容：スーパーなどで販売している中村屋のレトルトカレーをボンナでお買い求めいただけます。

■店舗：スイーツ＆デリカ　Bonna／ボンナ（新宿中村屋ビル　地下 1 階）

■対象商品：インドカリー、スリランカ式スパイスカリーの各シリーズ、
インドカリーの素

＜キャンペーン⑤＞LINE@「新宿中村屋 レトルトカレー」のお友達に プレミアムなレトルトカレープレゼント！

■期間：6 月 9 日（土）～6 月 10 日（日）　各日 10 時～17 時 30 分

■内容：LINE@の「新宿中村屋 レトルトカレー」でお友達になっていただいた方、
ボンナで LINE のお友達画面を見せていただくとプレミアムなレトルトカレーを
1 つプレゼントいたします。

■店舗：スイーツ＆デリカ　Bonna／ボンナ（新宿中村屋ビル　地下 1 階）

■プレゼント賞品：プレミアムインドカリー　スパイシーチキン

＜キャンペーン⑥＞オリーブハウスと洋食レストランで、インドカリー特別セットをご提供！

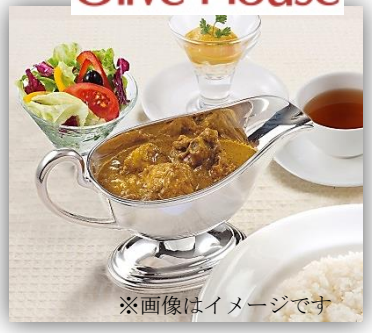
■期間：6 月 7 日（木）～6 月 17 日（日）
※店舗によっては、なくなり次第、提供を終了する場合があります。

■商品名：新宿中村屋伝統のインドカリー特別セット

■商品説明：インドカリーにサラダ、ドリンク、デザートを
お付けしたお得な特別セットです。

■価格：1,784 円（税込 1,927 円）

■対象店舗：百貨店、駅ビルなどに出店している
直営レストランの限定 5 店舗
（○Olive　House／オリーブハウス　（4 店舗）
新宿高島屋店、蒲田店、相模原店、浦和店
○洋食レストラン　新宿中村屋（1 店）
東武池袋店）



※新宿中村屋ビル内の直営レストラン（マンナ、グランナ）では実施していません。

【会社概要】

商号	：	株式会社　中村屋（東証第一部　証券コード：2204）
代表者	：	代表取締役社長　鈴木　達也
所在地	：	〒160-0022　東京都新宿区新宿三丁目 26 番 13 号
創業	：	1901（明治 34）年 12 月 30 日
設立	：	1923（大正 12）年 4 月 1 日
事業内容	：	各種和洋菓子、パン、食品の製造・販売、レストランの経営
資本金	：	74 億 6,940 万円（平成 30 年 3 月 31 日現在）
URL	：	http://www.nakamuraya.co.jp/

【別紙】

６月１２日は
恋と革命のインドカリーの日

１９２７（昭和２）年６月１２日、中村屋が日本で初めて本場インドの「純印度式カリー」を発売した記念日です

1 創業者夫妻とラス・ビハリ・ボースの出会い

ラス・ビハリ・ボース

ボースは、1886（明治 19）年、インドベンガル地方に生まれました。当時、イギリスの植民地として圧政に苦しんでいた祖国インドを救おうと独立運動に身を投じます。しかし、インド総督への襲撃をきっかけに、イギリス政府から厳しい追及を受け、1915（大正 4）年、日本に亡命します。

日本では孫文と知り合い、その紹介で頭山満の知遇を得て潜伏生活を送ります。しかし、それがイギリス政府に伝わり、日英同盟を結んでいた日本政府は国外退去命令を出します。退去日の前日に頭山から依頼を受けた創業者の相馬愛蔵・黒光（こっこう）夫妻は、ボースを中村屋の敷地内にあったアトリエで匿います。一商店が政府の意に反して亡命者を匿うことは大変なことでしたが、中村屋の従業員全員が団結し、保護にあたりました。

2 ボースを献身的に支えた俊子

ボースと俊子

亡命の翌年、日本政府はボース保護に転換しますが、イギリスからの追及は続きます。中村屋を出たボースは隠れ家を転々としますが、この時、逃亡生活を陰で支えたのが相馬夫妻の長女 俊子でした。相馬夫妻とボースの連絡役を務め、頭山満の提案で後に二人は結婚。二人の子供を授かりますが、逃亡生活の心労がたたり、俊子は 1925（大正 14）年、26 歳で早逝します。

自分を支えてくれた人を幸せにできなかった・・・。ボースの無念は計り知れないものだったにちがいありません。

3 純印度式カリー誕生

当時、日本に広まっていたカレーはイギリスから伝わった小麦粉を使用した、祖国インドのカリーとは別のものでした。

俊子の死後も中村屋と交流を深めたボースは本場のカリーを日本に紹介したいとの思いから、中村屋で喫茶部（レストラン）を開設する折に、純印度式カリーをメニューにすることを提案します。それはボースにとってもうひとつの独立運動だったのかもしれません。

そして、今から 91 年前の 1927（昭和 2）年 6 月 12 日、喫茶部の開設と同時に純印度式カリーを発売し、中村屋の名物料理となりました。

発売当初の「純印度式カリー」のセット

4 「恋と革命のインドカリーの日」制定

独立運動に身を投じ、俊子と深い絆で結ばれたボースが伝えたカリーは「恋と革命の味」として、今に伝わっています。

中村屋では、その発売日である 6 月 12 日を記念日として制定しました。

現在の「純印度式カリー」